

米づくり体験隊 <第4回報告>

(2017.08.18)

盛夏が行方不明のような日が続いていますが、今日は雲間から青空が見え、陽射しがありました。

期待を込めて私たちの田んぼに出かけました。田んぼには大変化が起こっています。

待ちに待ったイネの花が咲きました。



緑のजूータンが敷き詰められています。 8月18日の事です。





イネの穂が伸び、花を付けています。 イネの葉とは違う「イネの穂」見つけてください。



葉を分けるようにして見ると、穂にはこのように「伸びた白いもの」が付いています。

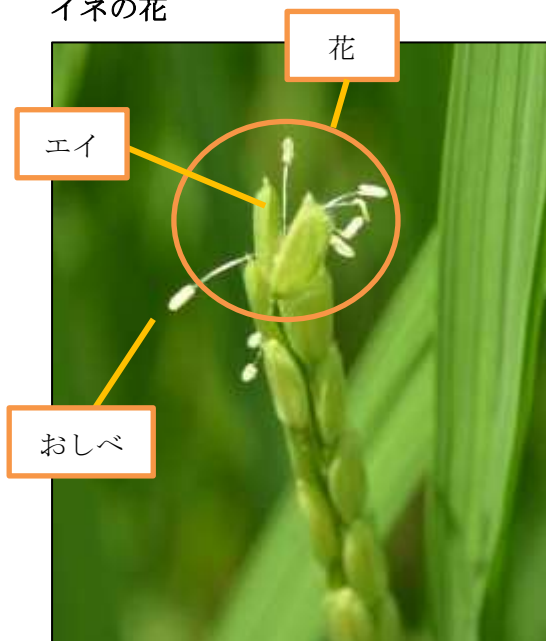


よく見ると・・・





イネの花



「イネの穂」先に花が咲いています。

もみ殻のような二つに割れている部分が、「穎（エイ）」です。イネの花です。この部分が一粒のお米になります。

「エイ」の中に6本の「おしべ」と、その根元に二つに分かれた「めしべ」があります。

* 「めしべ」は「エイ」の中にあり、見えません。

* 花粉を付けた「おしべ」が、延びています。

イネの花は、晴れた日の午前中に咲き、受粉が行われます。受粉は昆虫や小鳥によってではなく、花粉が風に運ばれて行われます。受粉が終わるとエイは閉じてしまいます。花は、晴れた日、午前中の2時間ほどの間、という限られた時間に咲きます。

何回か田んぼの観察を実施して花の咲く機会をとらえました。ラッキーです。